第1学年1組音楽科学習指導案

町田市立小山小学校
2026年11月13日（金）5時間目
対象　第1学年1組　31名
指導者　教諭　鈴木　萌花

1 題材名 「さがしてみよう ならしてみよう」

2 題材の目標

○ 楽器の音色と演奏の仕方の関わりについて気付き、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏する。（知識及び技能）

○ 音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。（思考力，判断力，表現力等）

○ 打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとする。（学びに向かう力，人間性等）

3 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	① 楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ② 思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。	① 音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。 ② 聴き取ったこと・感じ取ったことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いをもっている。	① 主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 題材構想

（1）児童について（児童観）

音楽が好きで前向きに取り組む様子が見られ、ペアやグループで活動することで、自己表現が苦手ながらにも前に出て発表することができる。しかし、自己表現の苦手な児童も一定数いる。そのため、ペア活動やグループ活動の機会を設け、安心して自己表現できるようにしていきたい。

第1学年の「ぶん ぶん ぶん」において、拍にのって歌ったり、タンブリンを演奏したりすることができた。「うみ」においては、大きな声で歌うことができたが、海のきれいな様子を思い浮かべながら歌うと、か細い声で歌っていた。そのため、歌詞からどのような様子を思い浮かべ、その様子を表すためには、どのような歌い方をしたり、どのように楽器を演奏したりすればよいのかということについて一度全体で考える時間を設け、活動に移っていきたい。

（2）教材について（学習材観）

カスタネット、タンブリン、トライアングル、すず、ウッドブロックの中から好きな打楽器を選んで歌の中に加えることができるオリジナル教材である。

「やさしい」「げんきな」「ふしぎな」「きれいな」などの歌詞に合う音を鳴らすには、どのような演奏の仕方がよいかを考えられるようにする。

児童に「友達の表現をまねてもよい。」と声掛けをすることで、友達の音を参考にしながら楽しんでいろいろな演奏の仕方を見いださせる。また、楽器の音色と演奏の仕方との関わりを学んでいくことができるようにする。丁寧に楽器を取り扱い、音を出すときの約束をしたうえで、友達の表現を聴いたり模倣したりしながら、よりよい音色を目指して表現の幅を広げていきたい。

（3）題材について（題材観）

本題材では、身近な打楽器そのものやそれらの音色への興味・関心を育てながら、音色の違いや音の様々な特徴を捉えて表現の仕方を工夫することに重点を置く。そして、様々な打楽器の音色とそれらの演奏の仕方との関わりに気付き、それを基に表現の工夫を進めるようにする。

そこで得た楽器の音色への興味・関心を基にして、様々な音の鳴らし方の中から自分の気に入った音を見付けて歌と合わせて発表したり打楽器の音の魅力を共有したりできるようにする。音楽づくりでは、それらの組合せによる響きの違いを意識しながら簡単な音楽をつくることができるようにする。鑑賞の学習では、音色とリズムが生み出す面白さに着目しながら、曲全体を楽しんで聴くことができるようにする。

この題材で気付いたり発見したりした音のよさや面白さと、その演奏の仕方との関わりについては、音色を中心とする表現への思いの土台となる。楽器演奏の基礎基本を押さえながら、児童が思いをもって表現する楽しさも味わえるようにしたい。

5 研究主題に迫るための手だて

【自己理解】

① 思いに合った表現方法を選択させる工夫

・自分はどんな音で演奏したいかを歌詞の「やさしいおと」「げんきなおと」「ふしぎなおと」「きれいなおと」に着目させ、その音をウッドブロック、トライアングル、カスタネット、タンブリン、すずの中から、どの打楽器で演奏したいかを選択させる。「自分はきれいな音で演奏したいからきらきらした音のトライアングルを使って演奏してみようかな。」というように思いに合った表現方法を選択させることで、自己理解につながると考えた。また、個人で表現方法を選択する前に、学級全体でデモンストレーションを行い、確認することで安心して活動に移れるようにする。

【他者受容】

① グループ活動による表現方法の違いを認め合える場の設定の工夫

・楽曲を十分に味わった後にグループで練習する時間を設ける。自分の表現したい音をグループ内で表現することで、他の児童の表現の仕方から新たな表現方法を発見できるようにする。また、机間指導を通して、同じ楽器を「やさしいおと」に使っている児童もいれば、「げんきなおと」に使っている児童もいることに気付き、全体に共有していく。そこで、同じ楽器を使っていても、鳴らし方一つで違う音を表現できることを価値づけ、自分と相手との違いをよさとして認め、他者受容につなげていく。

6 題材の指導と評価の計画 （全8時間扱い）

時	学習活動	指導上の留意点	・評価規準 〇方法
1	・トライアングル、すず、ウッドブロックの持ち方を確かめ、音を鳴らす。 ・2回目は、自分なりに考えた鳴らし	・指導者が楽器の持ち方を示す。 ・お気に入りの表現方法を見付け、発	・ 楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。 〇発言内容、演奏聴取

	方で表現する。 ・教科書に書いてある擬音語に合う打ち方を考え、表現する。 ・トライアングル、すず、ウッドブロック、カスタネット、タンブリンの楽器コーナーを設け、各コーナーを順に回りながら、気に入った音を見付ける。 ・気に入った音を学級全体で理由とともに共有する。	表できるようにする。 ・児童の手本を模倣させる。児童から鳴らし方の提案が出ない場合は、指導者が例示する。 ・指導者が、児童のアイデアを引き出し、いろいろな演奏の仕方を試せるようにする。 ・同じ楽器でも演奏の仕方による音色の違いなどを聴き比べ、楽器の音色と演奏の仕方との関わりに興味をもてるようにする。	
2	・指導用 CD の演奏を聴きながら歌い、音楽の感じをつかむ。 ・指導用 CD に合わせて歌ったり、リズムの部分を手拍子で打ちながら歌詞唱したりする。 ・4人グループになって、音を鳴らす順番、楽器は何を使うかを決める。 ・各グループで練習する。	・歌の中に、打楽器でリズムを打つ部分が入っていることに気付かせるようにする。 ・「やさしい」「げんきな」「ふしぎな」などの歌詞に合った歌い方で歌うように助言し、楽器のリズムの部分は手拍子を打つように伝える。 ・一度デモンストレーションを行い、全体で決め方を確認する。 ・「おとさがし」で見つけた音を使ったり、新たに考えたりするよう助言する。	・ 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 〇行動観察、発言内容、演奏聴取
3 本時	・「やさしいおと」「げんきなおと」「ふしぎなおと」「きれいなおと」と書かれたカードを一枚ずつ引き、お題に合った音を鳴らす。聴いている児童は、演奏している4人がそれぞれどのお題であったかを考える。 ・4人グループで、表現の工夫を考え、練習する。 ・工夫した表現をもとに演奏し、発表したグループの良かったところを伝える。	・演奏者はどのように鳴らせば歌詞に合った音を表現できるかについて考えるように伝える。聴いている児童には、どのような点を工夫しているかに注目するように伝える。 ・音の表現を迷っている児童には擬音語を使い、表現方法を想像させたり、工夫して演奏している児童を取り上げたりし、模倣してもよいことを伝える。 ・「自分のこと」「友達のこと」という2つの視点をもち、伝えることができるように助言する。	・音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。 〇行動観察、発言内容、演奏聴取
4	・教科書の絵や擬音語を見て、興味をもったものを選び、声で表現し、発表し合う。	・自由に表現するように促し、机間指導をしながら、絵に合った表現を見いだしている児童を紹介したり、ペアで伝え合ったり全員で模倣したりできるようにする。	・ 打楽器の音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 〇発言内容、演奏聴取

	・声で表した感じや前時までの学習を振り返りながら、自分が選んだ絵に合う音を探す。 ・学級全体で、音の紹介をし合いながらつなげ方を試す。	・「さがしてみよう ならしてみよう」で扱った楽器から音を選ぶようにさせる。 ・同じ絵でも、楽器や演奏の仕方がそれぞれ違うことを確認しながら聴き合うようにさせる。	
5	・前時に試した音のつなげ方を全員で行う。 ・3人組になり、「一人3回ずつ楽器を鳴らす」「つなげる順番を考える」「3人一緒に楽器を鳴らす場合は1回のみにする」という条件に基づき、音のつなげ方を工夫して音楽をつくる。 ・つくった音楽を聴き合い、互いのよさを見いだす。 ・自分たちの音楽について、どのような工夫をしているのか確認し、演奏の仕方などを振り返る。	・教科書の例を選択している児童がいる場合はその児童が、いない場合は指導者が指名した児童と一緒に表現する。 ・音が混ざりすぎないように、あらかじめグループごとに音楽づくりをする場所を指定する。 ・友達の表現のよいところを自分たちの音楽にも生かすように促す。	・ 音色、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。さらに、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについての思いをもつ。 〇発言内容、演奏聴取
6	・前時の学習で困ったことや分からなかったことを確認し、音楽をつくり上げる。 ・つくった音楽を発表し合い、互いのよいところを認め合う。	・前時の様子を把握している指導者から、困っているグループへのアドバイスを他のグループの児童に求めたり、自らが伝えたりする。	・ 思いにあった表現をするために、反復や呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いた簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。そして、その技能を生かして音楽をつくっている。 〇演奏聴取、発言内容
7	・「シンコペーテッド クロック」の曲名を伏せて聴き、曲想を感じ取る。 ・時計を表現した音楽であることを知り、聴こえてきた打楽器が何を表しているのか想像しながら聴く。 ・ウッドブロックとトライアングルの演奏の仕方を確認し、楽器を鳴らす真似をしながら聴く。	・身近にあるものを表現した音楽であることを伝え、楽器の音を手掛かりに何を表している音楽なのか考えながら聴くように促す。 ・ウッドブロックとトライアングルを使って範奏し、何を表しているのか再確認しながら聴くように促す。	・ 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 〇行動観察、発言内容
8	・ウッドブロックとトライアングルのリズムや、曲の最後の部分に注目して聴き、曲や演奏の楽しさについて、「えから うまれる おんがく」をつくった3人組で意見交流をする。	・ウッドブロックのシンコペーションのリズム部分を取り出して聴いたり、リズムに合わせて指を動かしたりして、その面白さを言葉でも伝えられるように促す。	・聴き取ったこと・感じ取ったことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いをもっている。 〇行動観察、発言内容

	・最後のカウベルとスライドホイッスルの音を聴き取り、擬音語で表現する。 ・3人組で、ウッドブロック、トライアングル、カウベルなどの役に分かれて、演奏する真似をしながら聴く。	・「えから うまれる おんがく」の絵や擬音語をヒントに考えさせる。 ・自分の担当する楽器の音が聴こえるときには立って真似するように伝える。	

7 本時の学習（3／8時間）

（1）本時のねらい

曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。

（2）展開

	学習活動	指導上の留意点 ○評価(評価方法)
導入	1 前時の振り返りをする。 ・「さがしてみよう ならしてみよう」を歌う。 ・歌詞にはどんな音が出てきたか振り返る。	・ 前時の児童の活動を確認し、これまでの学習内容を思い出させる。
展開	2 音の表現方法について考える。 ・ 「やさしいおと」「げんきなおと」「ふしぎなおと」「きれいなおと」と書かれたカードを引き、お題に合った音を一人ずつ鳴らす。 ・ 聴いている児童は、4人がそれぞれどのお題であったか考える。 3 4人グループで、どのように表現するかを考える。自 ・1 回目から4回目まで一人ずつどんな音を鳴らすか決める。 ・★印は 4 人でどんな音を鳴らすか決める。 4 工夫した表現をもとに練習する。他 5 発表する。 ・発表したグループの良かったところを伝える。	・ 音の表現を全体で共有することで、歌詞の意味から音の鳴らし方を想像しやすくする。 ・ 思うように音を表現できない児童に対しては、「ふしぎな音はどのように鳴らせばいいかな。」と問いかけ、他の児童に演奏してもらうことで、お助けの時間を設ける。 ・ グループ活動前にデモンストレーションを行い、安心してグループ活動に移れるようにする。 自己理解① ・ 1回目から4回目までの順番を書いたカード、どんな音を鳴らすかを書いたカードの2つを配り、自分の役割を視覚的に理解できるようにする。 ○音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取っている。 (行動観察、発言内容、演奏聴取) 他者受容① ・ 何の楽器を用いてどのような表現をしているか、自分のグループと同じところや異なるところは何か気づけるよう、積極的な声かけを行い、全体に共有する。 ・「自分のこと」「友達のこと」という2つの視点をもち、伝えることができるように助言する。
終末	6 本時を振り返り、次回への見通しをもつ。	

(3) 板書計画

11 月 13 日 (きん)

㋮くふうして えんそうしよう。

やさしい おと

げんきな おと

ふしぎな おと

きれいな おと

① 「さがしてみよう ならしてみよう」
② クイズ
③ 4人で れんしゅう
④ はっぴょう
⑤ ふりかえり



ウッドブロック



すず



カスタネット



トライアングル



タンブリン

さがしてみよう ならしてみよう

やさしい おと げんきな おと

いろんな おと が あるんだね

さがしてみよう ●●●・(①)

ならしてみよう ●●●・(②)

きいてみよう ●●●・(★)

ふしぎな おと きれいな おと

いろんな おと が あるんだね

さがしてみよう ●●●・(③)

ならしてみよう ●●●・(④)

たのしいね